

都立高校 ◆ 数学(一次・分割前期)

2 Sさんのクラスでは、先生が示した問題をみんなで考えた。次の各間に答えよ。

【先生が示した問題】
2桁の自然数Pについて、Pの一の位の数から十の位の数をひいた値をQとし、P-Qの値を考える。
例えば、P=59のとき、Q=9-5=4となり、P-Q=59-4=55となる。
P=78のときのP-Qの値から、P=41のときのP-Qの値をひいた差を求めなさい。

〔問1〕 次の□の中の「え」「お」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

【先生が示した問題】で、P=78のときのP-Qの値から、P=41のときのP-Qの値をひいた差は、□である。

Sさんのグループは、「先生が示した問題」をもとにして、次の問題を考えた。

〔Sさんのグループが作った問題〕

3桁の自然数Xについて、Xの一の位の数から十の位の数をひき、百の位の数をたした値をYとし、X-Yの値を考える。
例えば、X=129のとき、Y=9-2+1=8となり、X-Y=129-8=121となる。
また、X=284のとき、Y=4-8+2=-2となり、X-Y=284-(-2)=286となる。どちらの場合もX-Yの値は11の倍数となる。
3桁の自然数Xについて、X-Yの値が11の倍数となることを確かめてみよう。

〔問2〕 [Sさんのグループが作った問題]で、3桁の自然数Xの百の位の数をa、十の位の数をb、一の位の数をcとし、X、Yをそれぞれa、b、cを用いた式で表し、X-Yの値が11の倍数となることを証明せよ。

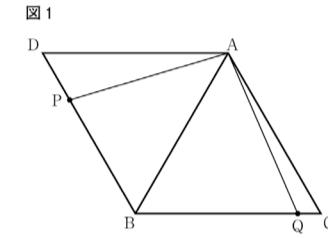
4 右の図1で、△ABCと△ABDは、ともに同じ平面上にある正三角形で、頂点Cと頂点Dは一致しない。

点Pは、辺BD上にある点で、頂点B、頂点Dのいずれにも一致しない。

点Qは、辺BC上にある点で、頂点B、頂点Cのいずれにも一致しない。

頂点Aと点P、頂点Aと点Qをそれぞれ結ぶ。

次の各間に答えよ。



〔問1〕 図1において、∠PAB=90°、∠DAP=a°とするとき、∠AQBの大きさを表す式を、次のア～エのうちから選び、記号で答えよ。

ア (75-a)度 イ (90-a)度 ウ (a+30)度 エ (a+60)度

〔問2〕 右の図2は、図1において、

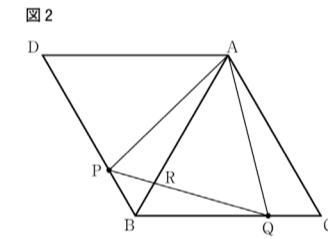
∠PAQ=60°のとき、点Pと点QをR結び、線分ABと線分PQとの交点をRとした場合を表している。

次の①、②に答えよ。

① △ABP ≡ △ACQ であることを証明せよ。

② 次の□中の「か」「き」「く」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

図2において、DP:PB=2:1のとき、△BRPの面積は、△ABCの面積の□倍である。



【考え方】

PとQの計算ルールを間違えないようにする。まずは具体的な数でイメージをつけてから、計算に進むとよい。次に、それぞれの位の数が与えられたときの数の表し方を押さえる。たとえば3桁の自然数について、百の位の数がaで十の位と一の位の数が0である場合(300や700など)、その自然数はaではなく、a×100と表せるることは想像しやすいだろう。同じように考えると、3桁の自然数Xはa+b+cではなく、X=100a+10b+cと表せる。問2は、自然数の表し方・与えられた計算ルールの2つに注意して計算を行うことで証明することができた。

【問1の解き方】

問題文から「QはPの一の位の数から十の位の数を引いた値」なので、P=78のとき、Q=8-7=1。よってP-Q=78-1=77
P=41のとき、Q=1-4=-3。よってP-Q=41-(-3)=44 と分かる。
よって、その差は77-44=33

【問2の解き方】

X、Yはそれぞれ、
X=100a+10b+c
Y=c-b+a-b+cと表せる。
その差は、X-Y=(100a+10b+c)-(a-b+c)=99a+11b=11(9a+b)
9a+bは整数なので、11(9a+b)は11の倍数になる。
よって、X-Yは11の倍数となる。

中学生2年生の皆さんへ
掲載している問題は、東京都立高校の一次・分割前期試験と都内私立高校の入試問題です。入試本番までには解けるようになることを目標に、努力していきたい入試問題に挑戦!!

入試問題に挑戦!!

編集部より
入試問題に挑戦!!

4 右の図1で、△ABCと△ABDは、ともに同じ平面上にある正三角形で、頂点Cと頂点Dは一致しない。

点Pは、辺BD上にある点で、頂点B、頂点Dのいずれにも一致しない。

点Qは、辺BC上にある点で、頂点B、頂点Cのいずれにも一致しない。

頂点Aと点P、頂点Aと点Qをそれぞれ結ぶ。

次の各間に答えよ。

〔問1〕 図1において、∠PAB=90°、∠DAP=a°とするとき、∠AQBの大きさを表す式を、次のア～エのうちから選び、記号で答えよ。

ア (75-a)度 イ (90-a)度 ウ (a+30)度 エ (a+60)度

〔問2〕 右の図2は、図1において、

∠PAQ=60°のとき、点Pと点QをR結び、線分ABと線分PQとの交点をRとした場合を表している。

次の①、②に答えよ。

① △ABP ≡ △ACQ であることを証明せよ。

② 次の□中の「か」「き」「く」に当てはまる数字をそれぞれ答えよ。

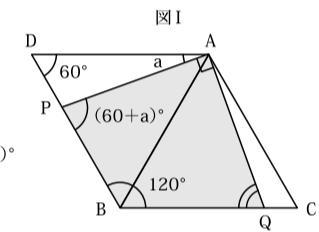
図2において、DP:PB=2:1のとき、△BRPの面積は、△ABCの面積の□倍である。

【考え方】

正三角形の1つの角が60°であることを利用して、同じ角の大きさや相似な三角形を探すことから始める。2つの角の大きさを同じ式で表して、間接的に等しいことを示す方法はよく使う考え方。面積比を求めるときは「相似な图形」と「線分の比」を利用することが多いため、平行な線分に着目する。今回も補助線を引いて相似な三角形を作り出すことで、面積比を求めることができた。

【問1の解き方】

△ABCおよび△ABDは共に正三角形なので、
∠ADB=∠ABD=∠ABC=60°
△ADPについて、三角形の内角と外角の関係より、∠APB=(60+a)°
四角形APBQの内角の和は360°なので、(図I参照)
∠AQB=360°-∠PAQ-∠BPA-∠QBP=360°-90°-(60+a)°-120°=(90-a)°
よって正解はイ

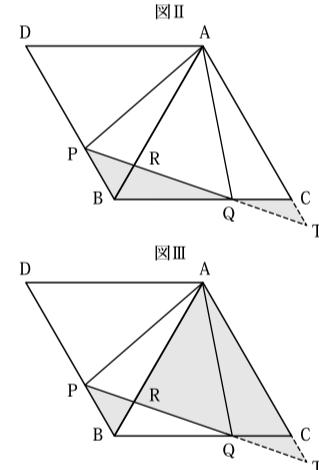


【問2①の解き方】

△ABPと△ACQについて、
△ABCは正三角形なのでAB=AC…①
正三角形の1つの角は60°なので、∠ABP=∠ACQ(=60°)…②
また、∠BAP=∠QAP-∠QAR=60°-∠QAR…③
同様に、∠CAQ=∠CAR-∠QAR=60°-∠QAR…④
③、④より、∠BAP=∠CAQ…⑤
①、②、⑤より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので、△ABP≡△ACQ

【問2②の解き方】

DP:PB=2:1で、△ABP≡△ACQなので、BQ:QC=2:1
また、∠DBA=∠CAB(=60°)なので、錯角が等しいからAC//DB
直線ACと直線PQの交点をTとすると、AC//DBより、△PBQ∽△TCQ (図II参照)
よって、PB:TC=BQ:QC=2:1 つまりCT=1/2PB
また、AC=AB=DBなので、
PB:AT=(AC+CT)=PB:(BD+CT)=PB:(3PB+1/2PB)=1:(3+1/2)=2:7
AC//DBより、△PBR∽△TARなので、RB:AR=PB:AT=2:7 (図III参照)
△ABCと△ABDは辺の長さが同じで、合同な正三角形。
△ABCの面積をSとすると、DP:PB=2:1、つまりDB:PB=3:1なので、
(△APBの面積)=1/3S
また、RB:AR=2:7、つまりAB:RB=9:2なので、
(△BRPの面積)=1/3S × 2/9 = 2/27 S
よって△BRPの面積は、△ABCの面積の2/27倍である。



解き方のポイント

【全体的な傾向】

問題量と出題形式は例年通りでした。読解力が求められる大問2では、規則性・文字式の利用問題が出題され、久しぶりに図形以外のテーマからの出題となりました。教科書レベルの取り組みやすいう題が多く、難易度は容易化しました。普段から記述を含めた問題に取り組み、自力で解き切る練習を積んでおくことが重要となる問題でした。

【大問1】計算・基本問題(小問9題・46点)(基本レベル)

問1～問6は基本的な計算問題、問7は資料を活用する問題でした。今回の2022年度入試を受験して高校進学する学年からは、大学入試で『情報』が教科として課される予定であり、その『情報』とも関係の深い分野です。問8は図形問題、問9は基本的な作図問題でした。

【大問2】文字の利用・規則性(小問2題・12点)(標準レベル)

「生徒や先生が作成した問題」という設定で、計算問題と証明問題の2問が出題されました。設定自体は例年通りですが、近年出題が多かった图形分野ではなく、整数分野からの出題でした。文章中のテーマや具体例が理解しやすくなったり、全体的な文章量が減少し、読み解きやすくなりました。文字を使った整数の表し方に慣れているかどうかがポイントになりました。

【大問3】二次関数(小問3題・15点)(標準～応用レベル)

問1、2は基本的な問題で、問3はグラフ中の線分の比に関する問題でした。問3は線分の長さと座標を区別して計算する必要がありました。正負の符号に注意して、線分の長さを、2点の座標の差を求めて解く問題でした。

【大問4】平面图形(小問3題・17点)(標準～応用レベル)

問1は图形の性質を利用して角度を求める基本的な問題でした。問2の①は例年通り証明問題で、正三角形の性質を利用する問題でした。2つの角の大きさを同じ式で表し、間接的に等しいことを示す方法は、入試でよく問われます。問2の②は面積比を求める問題でした。ACとDBが平行なことから、補助線を引いて相似な三角形を作ることがポイントでした。

【大問5】空間图形(小問2題・10点)(応用レベル)

直方体の辺を動く点が描く图形に関する問題でした。「動点と立体图形」という設定で難しく感じたかもしれません。しかし実は、点の速さと辺の長さに注目すると、点の動き自体は複雑ではないことに気づきます。問1は图形の周の長さをそれぞれの辺ごとに計算し、足し合わせる問題でした。問2は例年通り体積を求める問題でしたが、四角すいの高さが求めにくく難易度の高い問題でした。

【対策】

都立入試の数学は各分野からバランスよく出題されるため、日頃から苦手分野を作らないように勉強しておくことが大切です。大問1では基本的な計算問題が出題され、その配点は46点あります。加えて、大問2～5の小問1もその分野の基本問題となっています。これらを取りこぼすことなく正解することが、着実な得点につながります。さらに得点を狙う場合は、教科書に載っている証明問題の解答の流れを自分の言葉で説明できるようにして、さらに正しい表現で記述する練習を重ねましょう。

数学の勉強法

都立入試の数学では、中1から中3までの内容が幅広く問われますが、今年は中2までの内容を問う問題が大半を占め、その多くが教科書レベルの知識で解ける問題でした。これまで習ってきた単元の復習を行いつつ、新しく習う単元では基本事項をよく理解して、自分の言葉で説明できるように学習していきましょう。

【計算力】

計算力は正確さと速さの2つに分けて考えることが大切です。都立入試においては特に、正確さが重要になります。計算ミスの原因は、「途中式を書かない」、「文字が似ていて自分でも見間違えやすい」、「検算を行わない」などがあります。問題演習において、計算ミスにつながるこれらの原因を意識して減らすことで、計算の正確さが徐々に身につきます。

【代数分野】

方程式や関数などの分野では、立式が重要です。問題文を読んで、正しく立式を行うためには、公式や解き方の意味を理解しておく必要があります。新しく習う単元においても、式をただ眺めるのではなく、どういう意味があり、どのように使うのかを確認しながら学ぶようにしましょう。また、関数の入試問題ではグラフ中の图形について考える問題がよく出題されます。日頃から自分でグラフを正しく描く練習を行いましょう。

【図形分野】

図形分野では図形の性質を頭に入れて問題に取り組むことが大切です。どのような性質があったかを図形ごとに思い出し、図に書き込む練習をしておきましょう。また、補助線が必要な問題が多いのも図形問題の特徴です。「平行線を延長する」「平行線を追加する」「頂点を結ぶ」など、どのような補助線なのかを言葉にして、問題ごとに整理しましょう。そして、自分自身の手で実際に線を引く練習をしましょう。立体問題では切断面や展開図に着目して、平面の問題に落とし込むことがポイントです。平面图形の問題を解く力をつけた上で取り組むようにしましょう。

【応用力】

応用問題を解くためには、まず基本を理解することが必須です。その上で、応用問題を解くために必要な考え方や着眼点を学ぶようにしましょう。大切なのは、その考え方を自分の言葉で整理して別の問題でも使えるようにすることです。特に応用問題の場合、いつも同じような問題が出題されるとは限りません。さまざまな問題に対応するために、本質的な理解を目指しましょう。

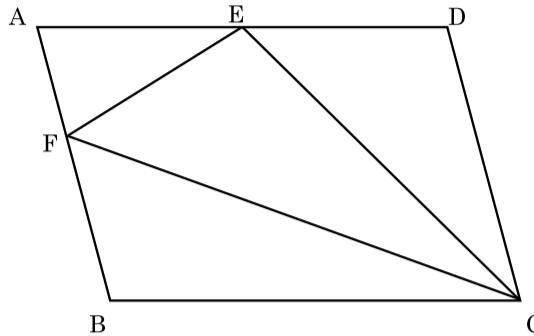
【これからの勉強方法】

普段の勉強では、基本事項を理解した上で章末問題などに挑戦し、週末や長期休みなど、時間があるときに過去の苦手分野の復習を行いましょう。さまざまな分野から出題される都立入試では、第一に苦手をなくし、基本の理解に努めることが大切です。特に数学では、過去の単元のつまづきが今の苦手につながっている可能性が高いためです。面倒だと感じるかもしれません、復習は苦手克服と受験準備の第一歩です。少しずつでも良いので始めましょう。

出題：東京都教育委員会 解説：家庭教師のトライ

◆ 数学(併願II 特待チャレンジ入試)

- ② 四角形 ABCD は平行四辺形である。辺 AD の中点を E, 辺 AB を 2:3 に分ける点を F とする。次の問いに答えなさい。
- (1) $\triangle AFE$ の面積は、 $\triangle ECD$ の面積の何倍ですか。
 - (2) $\triangle EFC$ の面積が 35 cm^2 のとき、平行四辺形 ABCD の面積を求めよ。



【解答】

- (1) $AE : ED = 1 : 1$, $AF : DC = 2 : 5$ より
 $\triangle AFE : \triangle ECD = 2 : 5$ よって $\frac{2}{5}$ 倍 …(答)
- (2) $AE : ED = 1 : 1$, $AF : FB = 2 : 3$ より平行四辺形 ABCD の面積を a とすると,
 $\triangle FBC = \frac{3}{5} \times \frac{1}{2} a = \frac{3}{10} a$, $\triangle ECD = \frac{1}{4} a$,
 $\triangle AFE = \frac{2}{5} \triangle EDC = \frac{2}{5} \times \frac{1}{4} a = \frac{1}{10} a$
 なので $\triangle EFC = a - \left(\frac{3}{10} + \frac{1}{4} + \frac{1}{10} \right) a = \frac{7}{20} a$
 よって $\frac{7}{20} a = 35$ したがって $a = 100 \text{ cm}^2$ …(答)

【先生から一言】

辺の比や相似比、等積変形などを利用して面積や体積を求める問題は、桜丘ではよく出題されます。(2)は受験生の多くが苦戦していた問題です。苦手を克服して合格を勝ち取ろう。

(桜丘高校 数学科 宮腰竜司先生)

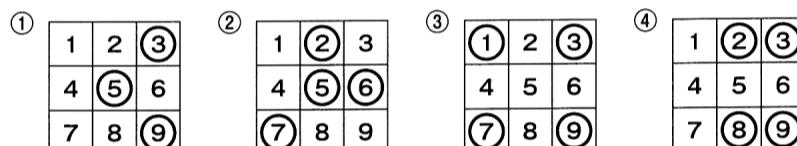
◆ 数学(推薦 第1回)

- ⑥ 2個のサイコロを同時に投げることを繰り返し、下の(a)～(c)のルールに従って右の図の1～9の数字に○を付けていくゲームをする。

- (a) 出た目の和と同じ数字に○を付ける。ただし、和が10, 11, 12 の場合は「1」に○を付ける。
 (b) 出た目の和に、すでに○が付いていたときは、新たに○は付けずに次の回に進む。
 (c) たて、横、斜めのいずれか1列に○が3つ並んだ時点で終了となる。

このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 1回目に、「5」以外のいずれかに○が付く確率を求めよ。
 (2) 次の①～④は4回目までが終わった後の図である。①～④のうち、5回目でゲームが終了となる確率が最も高いものと最も低いものをそれぞれ選び、その番号を答えよ。ただし、4回目までの確率は考えなくてよい。



1	2	3
4	5	6
7	8	9

【解答】 (1) $\frac{8}{9}$ (2) 最も高いもの ④、最も低いもの ②

【解説】 (1) 2つのサイコロの出た目の組は全部で $6 \times 6 = 36$ 通りあり、その和から○を付ける数を考えると、右の表のようになる。

「5」に○が付く確率は $\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$ だから、
 「5」以外のいずれかに○が付く確率は $1 - \frac{1}{9} = \frac{8}{9}$

(2) 右の表から、各マスに○が付く目の方は次のようになる。
 「1」→6通り、「2」→1通り、「3」→2通り、
 「4」→3通り、「5」→4通り、「6」→5通り、
 「7」→6通り、「8」→5通り、「9」→4通り

これをもとに、①～④の状況から5回目で終了となる場合の数を考えると、

①: 「1」または「6」または「7」に○が付けば終了 → $6 + 5 + 6 = 17$ 通り

②: 「3」または「4」または「8」に○が付けば終了 → $2 + 3 + 5 = 10$ 通り

③: 「2」または「4」または「5」または「6」または「8」に○が付けば終了 → $1 + 3 + 4 + 5 + 5 = 18$ 通り

④: 「1」または「5」または「6」または「7」に○が付けば終了 → $6 + 4 + 5 + 6 = 21$ 通り

確率を求める時、分母は36で等しいから、これらの大小関係が確率の大小関係と一致する。

よって、確率が最も高いものは④、最も低いものは②

	1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6	7
2	3	4	5	6	7	8
3	4	5	6	7	8	9
4	5	6	7	8	9	1
5	6	7	8	9	1	1
6	7	8	9	1	1	1

【先生から一言】 2つのサイコロを投げる問題では、表を書いてから考える解法が一般的です。(1)ではこの表を活用するとともに、余事象に着目すれば簡単に解答を求められます。(2)では最も高いものを③とする誤答が多かったのですが、これはどの数に○が付けば終了になるかだけに注目して、その候補が5つと最も多い③を選んだためと考えられます。しかし、実際にはそれぞれの数に○が付く確率は同様に確からしくない(上の解答例参照)ため、表で分かったことをまとめ直す必要があるのです。本校入試では、このような基本的な解法を活用しつつもう一步深い思考力を必要とする問題を、小問で2、3問は出題するようにしています。これは「自分の頭で考えて解決策を探ること」に数学の楽しさがあり、「パターンに当てはめる作業的な学習」で終わらせないで欲しいという思いの表れです。とはいえ、その他は基本問題中心の構成ですから、数学に苦手意識のある方も心配いりません!「今はまだ難しく感じるけど、思考力を養って数学を楽しみたい!」という思いをもった皆さんと共に学べることを楽しみにしています。

(十文字高校 数学科教科主任 濑畑光利先生)

◆ 美術／実技試験(一般入試)

<水彩> 制作のポイント

- ・安定した構図
- ・形や明暗を捉える
- ・筆触を活かし、絵具をたっぷり塗る
- ・仕上げは細い筆で描写に心がける

優秀作品(黄緑系の作品)



安定した構図で描かれ、画面から軽快感や楽しさが伝わってきます。鞄の表面の固有色が白色ですが、テーブルに敷いた黄色の布やモチーフの映り込みを上手に表現して色彩豊かな作品に仕上げています。特に、影を黒や茶色で表すのではなく、青、緑、オレンジ色などを重ねるように塗って、色彩のリズムを生んでいます。

平均的作品(色の濃いの作品)



構図や形は良いのですが、全体に絵具の量が薄く頼りなさが目立つ作品になってしまいました。まずはパレットに出す絵具の量を増やし、絵具をたっぷり筆に含ませながら描くことが大切です。画面が乾いたらその上から重ねて色をしっかり塗っていきましょう。また、モチーフの位置関係を確認しながら描くと画面に奥行き感が表現できます。

<鉛筆デッサン> 制作のポイント

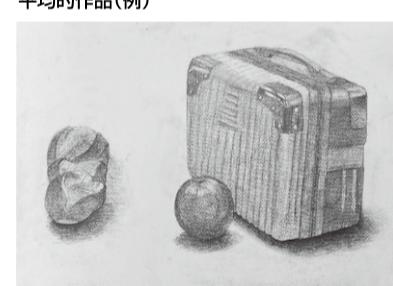
- ・安定した構図
- ・観察を丁寧に行い、形を正確に描く
- ・明暗やモチーフの質感を追求する
- ・細部の描写をしっかり追及する

優秀作品(例)



画面いっぱいに構図を取り、モチーフの特徴を良く捉えて描いています。白とくすんだ藤色の2色のプラスチック製の鞄ですが、固有色を描き分け、コーナーに取り付けられているメタリック製の金具部分などを良く描写されています。フランスパンのザラザラした質感やオレンジの重量感も感じます。完成度の高いデッサンに仕上がりました。

平均的作品(例)



モチーフの実物の大きさを大切に捉え、安定した構図のデッサンですが、もう少しモチーフの固有色や質感の違いを描き分けることができると思われます。デッサンはモノクロームの表現ですが、色彩を感じられることが大切です。机上に落ちる影の表現も濃淡を工夫して描けるように練習しましょう。

(女子美術大学付属高校 美術科主任 遠山香苗先生)

◆ 数学(一般入試)

右の図のように、放物線 $y = \frac{1}{4}x^2$ 上に X 座標が

それぞれ -2, 2, 4 となる点 A, B, C をとります。

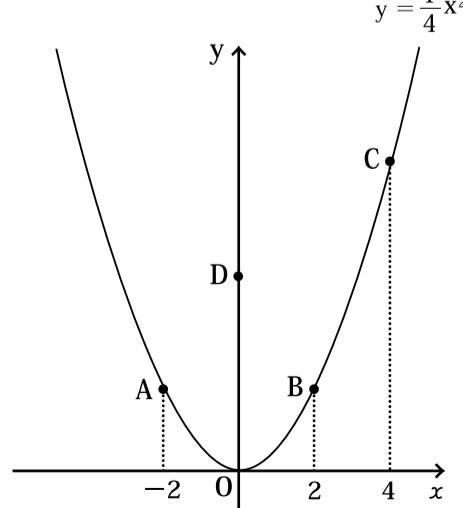
また、y 軸上に y 座標が正である点 D をとります。

次の問いに答えなさい。

- (1) 2点 B, C を通る直線の式を求めなさい。

- (2) $\triangle ABC$ の面積と $\triangle DBC$ の面積が等しくなるときの点 D の座標を求めなさい。

- (3) $BD + DC$ の長さが最も短くなるときの点 D の座標を求めなさい。



【解答・解説】

- (1) B(2, 1), C(4, 4)を通るので
 求める直線の式を
 $y = ax + b$ とする
 $\begin{cases} 1 = 2a + b \\ 4 = 4a + b \end{cases}$
 これを解いて $a = \frac{3}{2}$, $b = -2$
 よって求める直線の式は
 $y = \frac{3}{2}x - 2$ …(答)
- (3) 点 C と y 軸に対称な点を C' とする。
 直線 BC' と y 軸の交点が求める
 点 D である。
 $C' (-4, 4)$ であるから、
 直線 BC' の式は
 $y = -\frac{1}{2}x + 2$
 よって求める点 D の座標は
 $D(0, 2)$ …(答)

- (2) 点 A を通り、BC に平行な

直線を ℓ とする。 ℓ と y 軸との

交点が求める点 D である。

(1) より BC の傾きは $\frac{3}{2}$ であるから

ℓ の式は $y = \frac{3}{2}x + C$ における。

点 A(-2, 1) を通るので

$1 = -3 + C$

これを解いて $C = 4$

よって ℓ の式は、 $y = \frac{3}{2}x + 4$

以上より $D(0, 4)$ …(答)

【先生から一言】 $BD + DC$ が最も短くなるのは、対称な点をとつて一直線になるときを考えます。

(東洋大学京北高校 数学科 八下田先生)

Q1 いよいよ高校入試の学年です。でも、なにからはじめれば良いのか全くわかりません。最低限いつまでも何をすればよいのかなアドバイスお願ひいたします。(年間のスケジュールなど?)

◆受験生の二大テーマ受験生が本番まではいいですね。成功パターンのひとつです。ただ置かれた状況は人それぞれですから、これが唯一」とか、これがベストというものはありません。一般論という形でお話ししますので、あとは自分自身でアレンジしてください。

1年間を見通して計画を立てようという心がけはいいですね。成功パターンのひとつです。ただ置かれた状況は人それぞれですから、これが唯一」とか、これがベ

専門家の先生がみんなさんの疑問・不安にズバリ回答!!

◆学校選びは夏以降に本格化

学校選びに欠かせないのが、進学フェアへの参加や、各校が実施する学説会・個別相談・体験入学などへの参加です。これらのイベントがスタートするのは通常5月、6月からですが、本格化するのは夏休み以降となります。夏休みには多くの学校で体験入学なども行われます。これらは、皆さんに積極的に学校説明会などに参加するには、夏休みからですから、皆さんに夏休みからでも遅くないと思いま

◆授業イコール受験強

入試の問題は、2種類

の問題で構成されています。

基礎的基本な問題と応用的問題です。

基礎的な問題を解くのに必要な知識や技術

は学校の授業の中で身につけられます。それに対し応用的問題は、学校の授業だけでは必ずしも十分とは言えないので、各自の学習(家庭学習など)で補います。

問題をやり直しておきま

いすれかの時期に必ず

やらなければならぬこ

とです。3年生になれば、新しい内容や難しい内容が加わってきますから、そちらに時間をかけなければなりません。ですか

ら今のうちです。

今年の入試問題のチエ

ックについては、本紙の

別のページで書いていま

すので、そちらをご覧ください。

3年教科書の予習とい

うと難しそうですが、パ

ーパラとページをめくる

程度でいいです。それだ

けで気分が盛り上がり、

やる気がみなぎってくる

かもしれません。

●専門家の先生の回答は、

Eメールにて公開中

専門家の先生の回答は、

よみうり進学メディアW

したがってください。

のポイントなどあります。

どうか。また学校選び

の後悔しない志望

校の決め方が知りたい

です。どのように情報

収集をすれば良いでし

ますか。また学校選び

のポイントなどありま

す。

基礎的基本な問題を解

くのに必要な知識や技術

は学校の授業の中で身に

つけられます。それに対

し応用的問題は、学校の

授業だけでは必ずしも十

分とは言えないので、各

自の学習(家庭学習など)

見直すことと、家庭での

授業への取り組み方を

見直すことと、家庭での

授業時間を見直すことが

あります。

●専門家の先生の回答は、

Eメールにて公開中

専門家の先生の回答は、

よみうり進学メディアW

したがってください。

のポイントなどあります。

どうか。また学校選び

の後悔しない志望

校の決め方が知りたい

です。どのように情報

収集をすれば良いでし

ますか。また学校選び

のポイントなどありま

す。

基礎的基本な問題を解

くのに必要な知識や技術

は学校の授業の中で身に

つけられます。それに対

し応用的問題は、学校の

授業だけでは必ずしも十

分とは言えないので、各

自の学習(家庭学習など)

見直すことと、家庭での

授業への取り組み方を

見直すことと、家庭での

授業時間を見直すことが

あります。

●専門家の先生の回答は、

Eメールにて公開中

専門家の先生の回答は、

よみうり進学メディアW

したがってください。

のポイントなどあります。

どうか。また学校選び

の後悔しない志望

校の決め方が知りたい

です。どのように情報

収集をすれば良いでし

ますか。また学校選び

のポイントなどありま

す。

基礎的基本な問題を解

くのに必要な知識や技術

は学校の授業の中で身に

つけられます。それに対

し応用的問題は、学校の

授業だけでは必ずしも十

分とは言えないので、各

自の学習(家庭学習など)

見直すことと、家庭での

授業への取り組み方を

見直すことと、家庭での

授業時間を見直すことが

あります。

●専門家の先生の回答は、

Eメールにて公開中

専門家の先生の回答は、

よみうり進学メディアW

したがってください。

のポイントなどあります。

どうか。また学校選び

の後悔しない志望

校の決め方が知りたい

です。どのように情報

収集をすれば良いでし

ますか。また学校選び

のポイントなどありま

す。

基礎的基本な問題を解

くのに必要な知識や技術

は学校の授業の中で身に

つけられます。それに対

し応用的問題は、学校の

授業だけでは必ずしも十

分とは言えないので、各

自の学習(家庭学習など)

見直すことと、家庭での

授業への取り組み方を

見直すことと、家庭での

授業時間を見直すことが

あります。

●専門家の先生の回答は、

Eメールにて公開中

専門家の先生の回答は、

よみうり進学メディアW

したがってください。

のポイントなどあります。

どうか。また学校選び

の後悔しない志望

校の決め方が知りたい

です。どのように情報

収集をすれば良いでし

ますか。また学校選び

のポイントなどありま

す。

基礎的基本な問題を解

くのに必要な知識や技術

は学校の授業の中で身に

つけられます。それに対

し応用的問題は、学校の

授業だけでは必ずしも十

分とは言えないので、各

自の学習(家庭学習など)

見直すことと、家庭での

授業への取り組み方を

見直すことと、家庭での

授業時間を見直すことが

あります。

●専門家の先生の回答は、

Eメールにて公開中

専門家の先生の回答は、

よみうり進学メディアW

したがってください。

のポイントなどあります。

どうか。また学校選び

の後悔しない志望

校の決め方が知りたい

です。どのように情報

収集をすれば良いでし

ますか。また学校選び

のポイント